

# 広報ちゅうざん

6月号

平成21年6月1日発行



## もくじ

巻頭のあいさつ

二ページ

高次脳機能障害について

三ページ

食中毒を予防しましょう

四ページ

身体拘束について

知っていますか？

五ページ

平成二二年四月入退院状況

六ページ

# 梅雨時の健康

理事長・院長 今村 義典

梅雨に入り、不順な天候が続いています。

曇りや雨が多く、出かけるのが億劫になったり、湿度が高く蒸し暑く、不快指数が高くなり不愉快な気持ちになります。

しかし、夏を控え生物全般に必要な水のことを考えると、地球規模で動いている梅雨前線の、自然の恵みを感謝する必要もあります。

天候の変動に伴う気圧の変化は、リハビリを受けているような神経系や関節疾患の患者さんにとっては体調をくずしたり、痛みが増強したり辛いものがあります。

「このようなサインが出現するのは何故でしょう。人間は、地球の重力と空気に囲まれた自然の環境に従って生命を『えられて』いる生き物の一つである証拠であります。

「私の天気予報は良く当たります」と聞き直って体調を教えてくれる患者さんも居ます。

私も、週末に出掛ける予定がある時には、金曜日の外来の診察で、さりげ

なく患者さんの具合を聴いて天気予報の参考にすることが間々あります。

今年は、ニュースで報道されているようにこの季節に、メキシコから世界中に、新型インフルエンザの感染があり、世界中を心配させています。冬に流行のウイルスと様子が異なるので、特に注意が必要です。

一般に、インフルエンザ・ウイルスは、冬のように気温が低く、空気が乾燥している時期に流行しやすいと言われていますが、沖縄県では、昨年夏ごろまでインフルエンザが散発的に流行が見られましたので、ウイルスの好む季節が過ぎたからといって油断禁物です。

また、梅雨時は、湿度が高く蒸し暑いので油断をし、気温の変化への対応が出来ずに風邪を引きやすく、風邪症状に下痢などの胃腸症状を伴うことがあります。時期的に発生しやすい食中毒と似ていることもあり鑑別が必要です。

病気と気候の関係は、「生気象学」という研究があるように密接な関連性があります。一方、「病は気から」と言われるように梅雨時の不快指数は自律神経に影響するといわれ、病気を悪化することがあります。

天気の良い日は無理をせず体調に注意し、気持ちよく過ごすよう、体調を整に心掛けましょう。

# 高次脳機能障害ってなに？

作業療法士 前川ケン

脳卒中や脳外傷などで手足の麻痺が生じる事は良く知られていますが、認知・記憶力といった脳の高次機能に関する障害についてはあまり知られていません。今回はこれから高次脳機能障害についてのお話です。

## ① そもそも高次脳機能障害ってなんなの？

高次脳機能障害とは、主に脳の損傷によって起こる様々な神経心理学的症状のことを指します。その症状は多岐に渡り、記憶障害や、見えている物が何かわからない(失認症)、考えた動作と違った動きをしてしまう(失行症)、言葉がわからない、または口から出てこない(失語症)といった症状があります。その他、注意力や判断力の低下も見られ、仕事や家事など私たちの日常生活に対し大きな影響を及ぼします。これらの障害は運動麻痺や筋力低下などと違って、見た目では分かりにくく、また自覚症状も薄いいため、「隠れた障害」とも呼ばれます。

## ② どんな病気や怪我で起こるの？

高次脳機能障害の原因としては、前述した脳卒中や、頭部外傷の他にも、脳炎などの感染症、溺水や窒息、ぜんそくの発作等によって起こる低酸素脳症などがあげられます。また損傷部位によっては運動麻痺や知覚障害などが同時に起こることもあります。

## ③ 高次脳機能障害って良くなるの？

高次脳機能障害も、他の病気や怪我と同じくリハビリを行うことによって症状の改善が期待できます。例えば記憶障害であれば、文字カードやブロックなどを使って、覚えたものを一定時間保持し、その後思い出すといったトレーニングを繰り返すこと、その回復が見込まれます。その他の高次脳機能障害においても同様に、正しい動作を何度も繰り返したり、認識しづらい対象に意図的に意識を向けるといった訓練を根気強く行っていくことで改善を図っていきます。

その他、何らかの代償手段を検討することで、日常生活の手助けを行うこともリハビリでは行っています。

# 食中毒を

## 予防しましょう！

栄養課 ブラウン章子

沖縄県内の昨年の食中毒発生件数は28件、783人でした。

過去10年間では、297件の食中毒が発生しており、原因を食品別にみると不明が55%と最も多いが、原因が分かっている食品の中では魚介類やその他の加工品が21%も多い。次いで弁当のおかずなどが14%、肉類やその他の加工品が6%とつづいたと沖縄県業務衛生課より報告されています。

これから梅雨に入り、暑い日が続きますので、

食中毒に注意していきましょう。



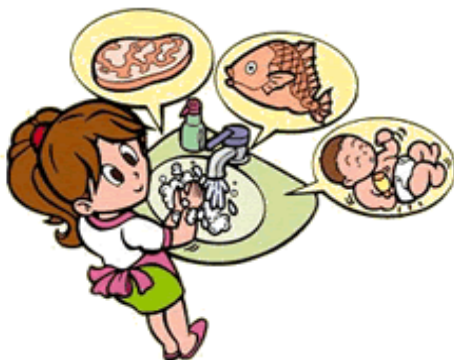
### 食中毒予防の3原則

- ① 清潔：食中毒の原因となる菌等をつけない。
- ② 迅速：食中毒の原因となる菌などを増やさない。
- ③ 加熱または調理：食中毒の原因となる菌等を加熱等でやっつける。

加熱等でやっつける。

### ☆家庭での食中毒のポイント☆

- ① 調理前、食事をする前には手を洗いましょう！



- ② 肉、魚、野菜などの

生鮮食品は新鮮な物を購入しましょう。



# 身体拘束について知っていますか？

身体拘束委員会 氏名 島袋綾子

当院は、リハビリテーション病院として、患者様の家庭・社会復帰を援助してはいますが、その患者様の多くは、骨折や脳卒中による後遺症により、日常生活を送る上で機能的に障害を患っています。そのため、朝ベッドから起きるとき、椅子やベッドから立ち上がる時、廊下を歩くとき、トイレで用を足すとき、常に転倒や転落の危険性と隣り合わせにあります。認知症の方や意識障害のある方では、経鼻チューブや胃ろうチューブを抜くことで誤嚥を起す危険性もあります。当院では、このような事態に備え、やむを得ず患者様の身体を拘束することがあります。

## ●身体拘束をする上での条件

具体的に当院で行っている身体拘束には、未然に転倒を防ぐために使用する「Y字帯」「I字帯」「オーバーテーブル」、気切カニユレーや経鼻・胃ろうチューブ抜去を防止するための「ミトン」、ベッドからの転倒・転落しないために講ずる

「ベッド柵紐固定」や柵を外すとセンサーが鳴る「柵センサー」などがあります。もちろん人を拘束するわけですから、それにはきちんとした評価と手続きが行われます。身体拘束が必要と主治医に判断がなされた場合には、身体拘束に関して同意を求めるとの説明を本人や家族に行います。身体拘束の条件には、A「利用者本人又は他の利用者などの生命又は身体が危険にさらされる可能性が著しく高い」場合、B「身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する看護・介護方法がない」場合、C「身体拘束その他の行動制限が一時的である」場合、に限定されています。しかし、時にはAの場合だけが優先され、安易に身体拘束に対策が偏り易くもなってしまう。この条件A・B・Cの全てが満たされているかをチェックするため、身体拘束委員会では、定期的に患者様の身体拘束状況の報告とその検討を話し合っています。

## ●当院での、今後の身体拘束に関する方向性は???

当院における身体拘束状況はおおまかに入院患者平均二百名に対して二十%前後です。事故を未然に防ぐ為にも身体拘束は医療行為として必要かもしれません。しかしそれは解除が前提にあつて成り立つものです。冒頭に掲げた「患者様の社会復帰」は、身体拘束させたままでは実現できません。転倒の危険のある患者様であれば下肢の筋力をつける運動を集中的に行い歩行能力の向上を目指し、鼻のチューブを抜く危険のある患者様であれば食べる能力をつけチューブ類を抜去することで抑制を減らすことが出来るので今後も職員一丸となつて抑制ゼロを目指して行きます。

## 平成21年4月 入退院状況

